

まちがいさがし

下の2枚の絵を見比べて、違うところを見つけてください。間違いは10個あります。

なお、答えは広報とよはし12月号で発表します。

問合せ 広報広聴課 (☎51・2165)



もっと知ろう!
使おう!

ポートインフォメーションセンター カモメリア



三河港の役割と魅力を見て、触れて、学べる体験型の展示施設です。港や船に関する展示物などを通して、楽しく三河港の特徴を学ぶことができます。

三河港とは？

豊橋市・豊川市・蒲郡市・田原市に跨る港で、自動車の輸出入が盛んに行われています。輸入は台数・金額ともに33年連続全国第1位を誇り、国内に流通する輸入車の約半数が三河港を経由して運ばれています。また、輸出は台数・金額ともに全国第2位で、金額面では輸入の約4倍に上るなど、自動車を中心としたものづくりを支えています。

展示室



実物の救急救命艇や、実際に輸出入されていた自動車など、三河港に関する展示が見られます。



救急救命艇の中に入り、操縦席に座ることができます。

展望室



地上30mから三河港を360度一望できます。飲食物の持ち込みもできます。

自動車専用船カットモデル



舵を回して模型を動かし、自動車船の内部の仕組みを見ることができます。

R8年8月に三河港が東海地方で唯一の サーキュラーエコノミーポートに選定されました

サーキュラーエコノミーポートとは？

ものを運ぶだけでなく、資源を集め、リサイクルし、再び必要な場所へ運ぶ「循環」の拠点となる港のことです。港湾管理者やリサイクル関連企業、物流事業者などが連携し、サーキュラーエコノミー（資源を何度も使う経済の仕組み）の実現に向けて取り組んでいます。

なぜ三河港が選定されたの？

H15年にリサイクルポートに指定され、長年、循環資源の物流拠点としての役割を担ってきました。また、三河港の周辺には、金属くずや再利用資材などの循環資源を取り扱う企業が立地していることから、効率よく資源を集め、循環につなげる拠点として期待され、選ばれました。

カモメリアでは、
サーキュラーエコノミーの
取り組みをパネル展示で
学ぶことができます。



愛知県三河港務所より提供

施設概要

ポートインフォメーションセンター カモメリア

所在地 神野ふ頭町3-29
開館時間 9:00~17:00
休館日 12/29~1/3
問合せ みなと振興課
(☎34・3712)

